【FdData 高校入試：中学社会地理：人口の特徴】

[世界の人口／人口ピラミッド・少子高齢化／過密と過疎／FdData 入試製品版のご案内]

[FdData 入試ホームページ]掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧]
※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると，新規ウィンドウが開きます
社会： [社会地理]，[社会歴史]，[社会公民]
理科： [理科 1 年]，[理科 2 年]，[理科 3 年]
数学： [数学 1 年]，[数学 2 年]，[数学 3 年]
※全内容を掲載しておりますが，印刷はできないように設定しております

【】世界の人口
[世界の人口]
[問題]
　世界の総人口はおよそ何億人か。次から 1 つ選べ。
[約 51 億人　約 61 億人　約 71 億人　約 81 億人]
(岩手県)
[解答欄]

[解答]約 81 億人
[解説]
2023 年の世界人口は約 80.5 億人である。人口が最も多い地域はアジアで，世界の人口の約 6 割が集中している。アジアについで人口が多い地域は，人口増加率が高く食料不足の問題が起こっているアフリカである。人口(2023 年)の多い 5 か国をあげると，1 位 インド(14.29 億人)，2 位中国(14.26 億人)，3 位 アメリカ合衆国(3.4 億人)，4 位 インドネシア(2.8 億人)，5 位 ブラジル(2.2 億人) である。日本の人口は 1.24 億人で世界 11 位である。

[世界の人口]
世界の人口：約80.5億人
アジアが約6割
1位インド，2位中国，3位アメリカ
（日本は1.24億人）

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P15～21
※入試出題頻度：「80.5 億人○」「人口順位：インド・中国・アメリカ△」
(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)，○(出題頻度が高い)，△(ときどき出題される))

[問題]

次の資料は，一郎さんが，国土面積が大きい国(2023 年)と人口が多い国(2023 年)の上位 7 か国について，国の国土面積と人口が，日本の何倍にあたるかを調べたものである。ア，イは，国土面積，人口のいずれかを示している。X，Y，Z が示す国名を書け。

順位	ア	イ
1	X (45.2 倍)	インド (11.5 倍)
2	カナダ (26.4 倍)	Z (11.5 倍)
3	Y (25.5 倍)	Y (2.7 倍)
4	Z (25.4 倍)	インドネシア(2.2 倍)
5	ブラジル (22.5 倍)	パキスタン(1.9 倍)
6	オーストラリア(20.5 倍)	ブラジル (1.7 倍)
7	インド (8.7 倍)	X (1.2 倍)

(福岡県)

[解答欄]

X	Y	Z

[解答]X ロシア　Y アメリカ　Z 中国

[解説]

イのインド・インドネシアからイが人口だとわかる。面積は，ロシア(X)・カナダ・アメリカ(Y)・中国(Z)の順。人口は，インド・中国(Z)・アメリカ(Y)の順。

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P15～21

[問題]

インドの総人口は 14.3 億人(2023 年)で，世界第(　　)位である。(　　)に適切な数字を入れよ。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]1

[問題]

　人口の最も多い大陸を次から 1 つ選べ。

[北アメリカ大陸　南アメリカ大陸　アフリカ大陸　ユーラシア大陸]

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]ユーラシア大陸

[解説]

ユーラシア大陸はアジア州とヨーロッパ州にまたがる大陸である。アジア州は人口が最も多い地域で，世界の人口の約 59.1%(2023 年)が集中している。ヨーロッパ州も人口が多く全世界の 9.2%(2023 年)をしめる。したがって，ユーラシア大陸の人口は，世界全体の約 68%である。

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P15

[人口爆発]

[問題]

　1950 年以降, アジアやアフリカなどの発展途上国でおこっている急速な人口増加を何というか。

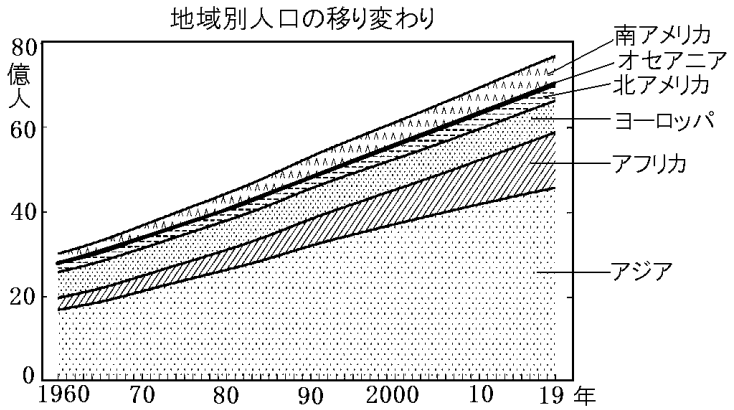
(香川県改)

[解答欄]

[解答]人口爆発

[解説]

1950 年に約 25 億人であった世界の人口は, 20 世紀後半に急激に増加し，2023 年には約 81 億人になった。このような急激な人口増加を人口爆発(じんこうばくはつ)という。人口爆発はアジアやアフリカの発展途上国(はってんとじょうこく)で著しい。右図のように，もっとも人口が増加したのは，アジアで，2 番目はアフリカである。



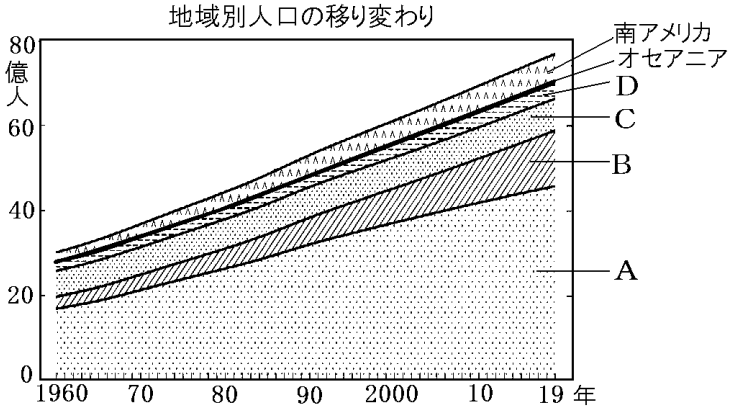
ヨーロッパや日本などの先進工業国では，少子高齢化（しょうしこうれいか）が進んでおり，人口の減少の進んでいる国もある。

※入試出題頻度：「アジアとアフリカで人口爆発○」
「グラフ(アジア・アフリカ)○」

[人口爆発]
アジア・アフリカの
発展途上国で人口が急増

[問題]

次の図は，1955 年から 2019 年までの世界の地域別人口の推移を示したものである。アジア州の人口の推移を示したものを，図中の A～D から 1 つ選び，記号で答えよ。



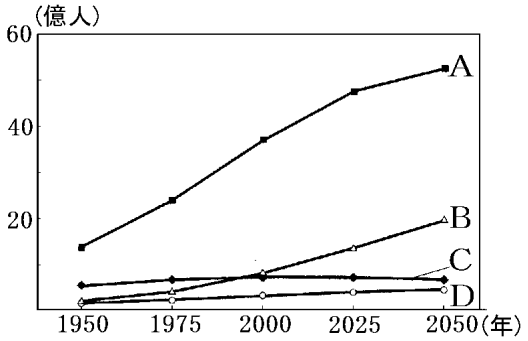
(山口県)

[解答欄]

[解答]A

[問題]

人口問題について，次の各問いに答えよ。



(1) 右の資料は，アフリカ，北アメリカ，アジア，ヨーロッパの人口の推移と予測を，25 年ごとに示している。アフリカを示すものとして適切なものを，A～D の中から 1 つ選び，その記号を書け。

(2) アフリカの人口の説明として最も適切なものを，次の中から 1 つ選べ。

ア　人口ピラミッドが，つりがね型からつぼ型になった国が多い。

イ　少子高齢化が進行し，高齢者福祉の維持が課題となっている国が多い。

ウ　結婚する年齢が上昇し，女性 1 人あたりの出産する人数が減少している国が多い。

エ　衛生知識の広まりや医療施設の充実などで，乳幼児死亡率が大幅に低下した国が多い。

(青森県)

[解答欄]

(1)	(2)

[解答](1) B　(2) エ

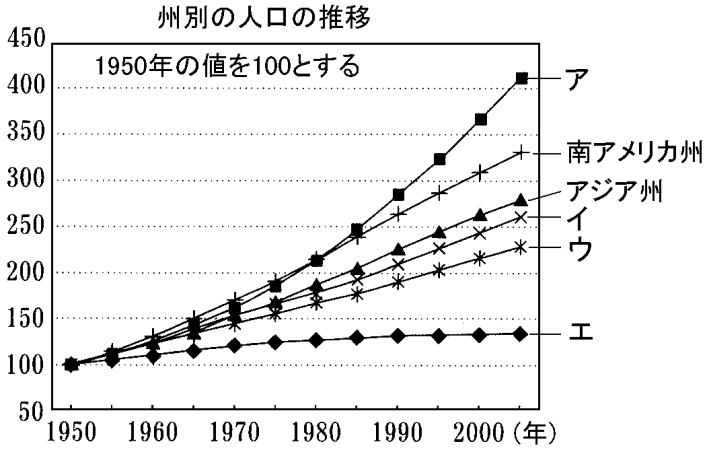
[解説]

(1) 人口増加が著しい地域はアジアとアフリカであるが，人口が最も多いのは A のアジアなので，B がアフリカと判断できる。C はヨーロッパ，D は北アメリカである。

(2) ア～ウは先進国の人口の特徴である。

[問題]

次のグラフのうちアフリカ州を示すものはどれか。グラフのア～エの中から 1 つ選び，その記号を書け。



(埼玉県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

人口爆発がおこっているのはアジアとアフリカであるが，特にアフリカにおける人口急増が著しい。人口爆発の原因は，医療が普及して死亡率が下がったが，出生率が高いままであったことである。アフリカの国では，人口の急増に食糧増産が追いつかず，飢餓(きが)に苦しむ人々が少なくない。また，農地や放牧地の無理な開拓により，砂漠化(さばくか)や熱帯林(ねったいりん)の破壊(はかい)がすすみ，食糧不足は今後さらに深刻化することが心配されている。

[問題]

次の文は，世界の人口の変化について述べたものである。文中の X に適当な言葉を書き入れて文を完成させよ。ただし，X には「医療」「死亡率」「出生率」の 3 つの言葉を含めること。

世界の人口は，1950 年に約 25 億人であったが，その後，急増し，2023 年には，約 81 億人になった。世界の人口が急増したのは，1950 年代以降，主にアジア，アフリカにおいて，(　　X　　)からである。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]医療が普及して死亡率が下がったが，出生率が高いままであった

[問題]

アフリカの多くの国々では，人口増加にともなってどんな問題が生じているか，具体的に書け。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]食料が不足する問題

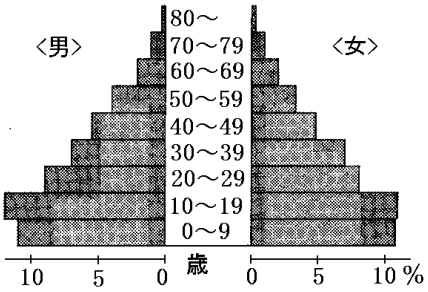
【】人口ピラミッド・少子高齢化

[人口ピラミッド]

[問題]

右のグラフはある国の男女別，年齢別の人口構成を表したもので，このようなグラフを「人口(　　)」という。(　　)にあてはまる語をカタカナ5字で書け。

(神奈川県)

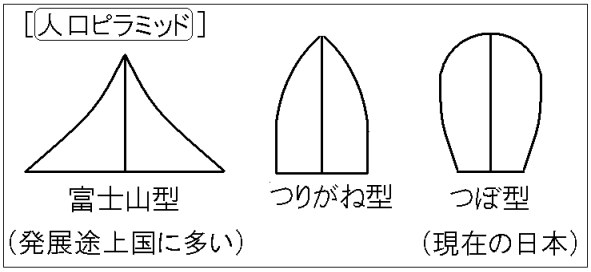


[解答欄]

[解答]ピラミッド

[解説]

図のような，年齢別の人口構成をあらわしたグラフを人口ピラミッドという。たて軸に年齢，横軸には人口(割合)をとり，左に男性，右に女性と分ける。



出生率と死亡率がともに高い場合は，年齢が高くなるにつれ人口が減っていくため富士山型になる。戦前の日本は，多産多死であったため，典型的な富士山型であった。発展途上国の場合も富士山型の人口ピラミッドになることが多い。

先進国では，出生率，死亡率ともに低くなるため，子どもの数とお年寄りの数の差が富士山型よりも小さいつりがね型になる。さらに，現在の日本のように，出生率が低下傾向にある国では，子どもの数が少なくお年寄りの数が多くなるため，人口ピラミッドはつぼ型になる。

※入試出題頻度：「人口ピラミッド○」「発展途上国は富士山型(図)△」

「現在の日本はつぼ型(図)△」

[問題]

中国では「一人っ子政策」とよばれる人口抑制政策で，急激な少子高齢化が進んでいる。この結果，中国の人口ピラミッドは現在のわが国と同じ型を示すようになった。その人口ピラミッドの型は何とよばれるか。その名称を書け。

(香川県)

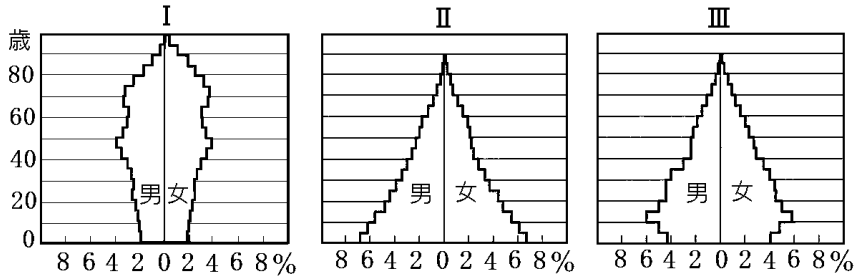
[解答欄]

[解答]つぼ型

[日本の人口ピラミッドの推移]

[問題]

Ⅰ～Ⅲのグラフは，わが国の 1935 年，1960 年，2019 年のいずれかの年齢別人口割合を男女別に表したものである。これらを年代の古い順に並べ，その記号を書け。

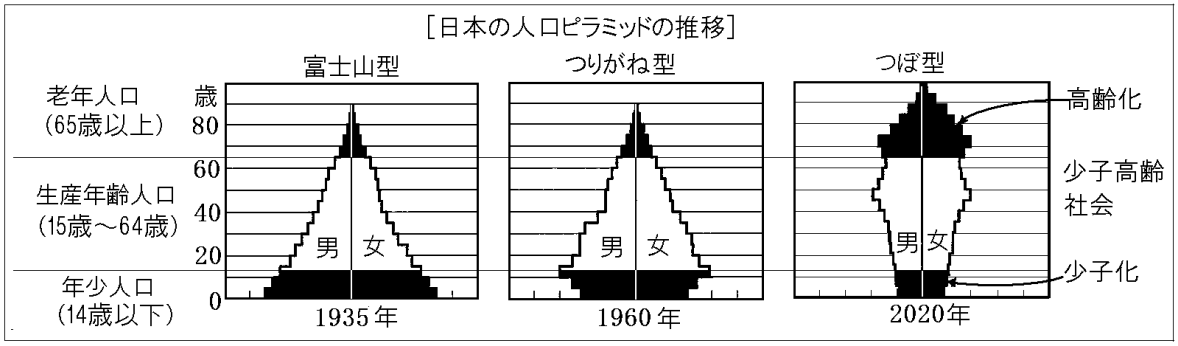


(岩手県)

[解答欄]

[解答] Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ

[解説]



1935 年のグラフは富士山型(ふじさんがた)である。戦前の日本では，出生率・死亡率ともに高かったので，14 歳以下の人口が多く，65 歳以上の人口が少ない人口構成になっていた。

まん中の 1960 年のグラフでは，10～20 歳の人口がとくに多くなっているが，これは戦後のベビーブームの影響である。(1945 年に太平洋戦争が終わり，結婚する人が増加し，その結果出生児の数が急増した)

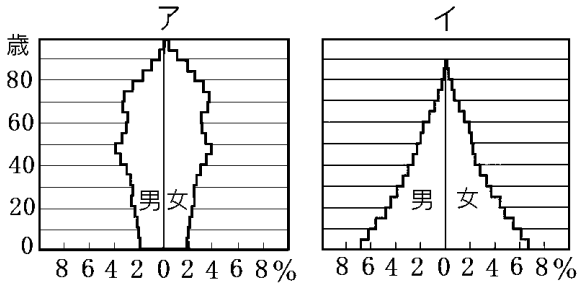
2020 年のグラフはつぼ型である。70 歳代の人数が多いが，これは戦後のベビーブームの世代が 70 歳代になったためで，高齢化(こうれいか)が進んでいることがわかる。20 歳以下の人数が，年少になるほど少なくなっているが，これは少子化(しょうしか)の影響である。現在の日本は，少子高齢化(しょうしこうれい)が進んでいる。

(統計修正)「日本国勢図会 2024／2025」P40

※入試出題頻度：「日本の人口ピラミッドを年代の古い順に並べかえよ◎」

[問題]

右のアとイは，日本の 1935 年と 2019 年のいずれかの人口ピラミッドを表したものである。2019 年の人口ピラミッドを表しているのはどちらか。①その記号を書き，②2019 年の人口構成の特徴を 1935 年と比較して簡潔に書け。



(埼玉県)

[解答欄]

①	②

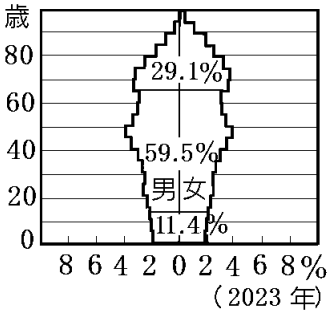
[解答]① ア　② 高齢者の割合が高く，子どもの割合が低い。

[少子高齢化]

[問題]

次の文の①，②のそれぞれにあてはまることばを，(　　)から選べ。

今日，わが国では，総人口に占める 65 歳以上の高齢者の割合が，①(高く／低く)なる傾向にある。右のグラフからは，わが国の人口のおおよそ②(3.4 人／4.4 人／5.4 人)に 1 人が 65 歳以上の高齢者であることがわかる。



(北海道)

[解答欄]

①	②

[解答]① 高く　② 3.4 人

[解説]

老年人口の割合が 7%を超えると，人口の高齢化(こうれいか)が進んでいる社会といわれる。日本では，1970 年ごろに老年人口が 7%をこえ，現在(2023 年)の老年人口は 29.1%になっている。今後はもっと高齢化が進むと予想されている。日本は他の欧米(おうべい)諸国と比較して，高齢化の進行速度が非常に速い。また，出生率は低い水準にあって，少子化(しょうしか)も進んでいる。このように，少子化と高齢化が同時に進むことを少子高齢化(しょうしこうれいか)という。また，2010 年以降は人口が減少しつつあり，2023 年現在の人口は 1.24 億人となっている。

[少子高齢化]
年少人口(～14歳)：減少→少子化
生産年齢人口(15～64歳)：減少
老年人口(65歳～)：増加→高齢化
2010年以降，人口は減少傾向
(現在は1.24億人)
労働力の不足
高齢者福祉を支える若い世代の負担が大きくなる

高齢者数が増えていく一方で，高齢者福祉(ふくし)を支える生産年齢人口(せいさんねんれいじんこう)が減っていくため，労働力が不足することや，生産年齢者１人あたりの負担(ふたん)が増えていくという問題が生じる。
(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P16，39
※入試出題頻度：「少子化○」「高齢化○」「少子高齢化◎」「2010 年以降人口が減少△」
「現在の人口は 1.24 億人△」「生産年齢人口の減少△→労働力の不足△」
「高齢者福祉を支える若い世代の負担が大きくなる△」

[問題]
　少子高齢化とは何か。説明せよ。
(山形県)
[解答欄]

[解答]子供が減少し，高齢者が増加する現象。

[問題]
　日本の年齢別人口の特徴を書け。
(滋賀県)
[解答欄]

[解答]年少人口の割合が低く，老年人口の割合が高い。

[問題]
　現在の日本は少子高齢社会になっているが，さらに高齢化が進むとどのような問題がおこるか。「若い世代」という語句を使って簡単に説明せよ。
(補充問題)
[解答欄]

[解答]若い世代の負担が大きくなる。

【】過密と過疎

[日本の人口の分布]

[問題]

北海道地方，東北地方，関東地方，九州地方のうち，人口密度が最も高い地方はどこか，最も適当なものを 1 つ選び，その地方名を書け。

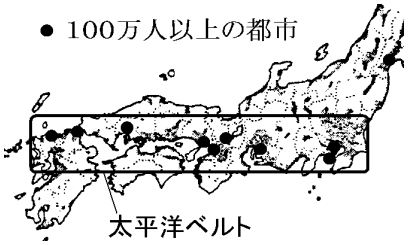
(三重県)

[解答欄]

[解答]関東地方

[解説]

日本の人口は,おもに太平洋側沿岸に集中している。日本の，関東から北九州までの人口が集中した地域を太平洋ベルト地帯という。この地域は，地形で見ると平野や盆地が多く，産業面から見ると工業のさかんな地域で，札幌と仙台をのぞくすべての 100 万都市は，太平洋ベルト地帯の中にある。



※入試出題頻度：この単元はときどき出題される。

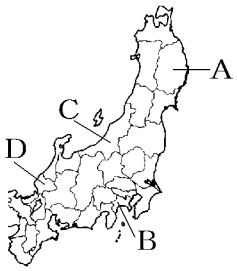
[問題]

右の地図中の A～D の県の中で，最も人口密度の高い県はどれか。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]B



[問題]

日本の工業地帯・地域は，人口の多い都道府県に多くみられる。人口が多いことは，その地域の工業の発展にとってどのような利点があると考えられるか。簡潔に書け。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]多くの労働力を確保しやすいこと。

[過密]

[問題]

ある地域に人口が集中しすぎることを何というか。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]過密

[解説]

ある地域に人口や建物などが集中しすぎることを過密という。とくに，東京は，政治や経済などの様々な中心が集まっているため，過密地域になっている。過密地域では，交通渋滞，住宅不足，大気汚染，ごみ問題などが深刻である。都心部の地価が上昇し，人々は，比較的安い土地が得られる郊外のニュータウンなどに住むようになった。その結果，都心部の人口が減少する一方で郊外の人口が増加し，人口が都心を中心にしてドーナツのように分布するようになった。この現象をドーナツ化現象という。(東京や大阪の中心部の夜間人口が昼間人口よりも少ないのは，昼間，通勤や通学で都市の中心部へ来ていた人が，夜は周辺の郊外へ帰るからである。)

バブル経済が崩壊した 1990 年代以降，地価が安定してきたこともあって，再開発された都心部の高層住宅に住む人が増える都心回帰現象も見られるようになっている。

1960～70 年代に建てられたニュータウンでは，現在，住民の高齢化が問題になっている。

※「ドーナツ化現象」「都心回帰現象」の語句が出てこない教科書もある。

※入試出題頻度：「過密(過密化，過密地域)○」「交通渋滞○，ごみ問題○，地価上昇・住宅不足△，大気汚染や騒音△」「ドーナツ化現象△：都心の人口が減少し郊外の人口が増加する現象△」「都心回帰現象△」「ニュータウンの住民の高齢化△」

[過密(過密化，過密地域)]
交通渋滞，ごみ問題，公害
地価上昇・住宅不足
→郊外のニュータウンへ人が移動
→ドーナツ化現象→都心回帰現象
現在，ニュータウンの住民の高齢化

[問題]

高度経済成長期には，東京などの大都市圏に人口が集中し，過密問題の発生や地価が上昇した結果，都心の人口が減少して，郊外のニュータウンなどの人口が増加する現象がみられた。この現象を何というか書け。

(福井県)

[解答欄]

[解答] ドーナツ化現象

[問題]

次の文は,都市中心部の過密解消への取り組みの1つについて述べようとしたものである。文中のXに共通してあてはまる最も適当な言葉を書け。

人口が急増した都市の郊外では,(　X　)とよばれる大規模な住宅地の開発がおこなわれた。その具体的な例として，東京都の多摩(X)，大阪府の泉北(X)，横浜市の港北(X) などがあげられる。しかし，職場は都市中心部に集中しているため，通勤のときの混雑などの問題が生じたところもある。

(香川県)

[解答欄]

[解答]ニュータウン

[問題]

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

ある地域に人口や建物などが集中しすぎることを(　①　)という。(①)地域では,交通渋滞,住宅不足，大気汚染，ごみ問題などの問題が深刻になった。また，地価も高かったため，都心の人口が減少し，郊外のニュータウンなどの人口が増加する(　②　)現象も起こった。しかし，1990年代に地価が下がると，都市再開発が進み，再び郊外より都心に近い地域で人口が増加する(　③　)現象も見られるようになった。1960～70年代に建てられたニュータウンでは，現在，住民の(　④　)化が問題になっている。

(補充問題)

[解答欄]

①	②	③	④

[解答]① 過密　② ドーナツ化　③ 都心回帰　④ 高齢

[問題]

過密地域で起こる問題として適さないものを次のア～オから選び，記号で答えよ。

ア 大気汚染　イ ごみ問題　ウ 交通渋滞　エ 地価の下落　オ 騒音

(補充問題)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

人口の過密にともなって起こる交通に関する問題を 1 つあげ，その問題を解決するための取り組みを，簡単に書け。

(岩手県)

[解答欄]

[解答]人口が集中すると，朝夕の交通量が増えて，交通渋滞が問題となるため，道路や鉄道網を整備するなどして，その緩和をはかっている。

[過疎]

[問題]

人口が都市部へ流出することにより減少し，地域社会を支える活動が困難になることを何というか。漢字 2 字で答えよ。

(石川県)

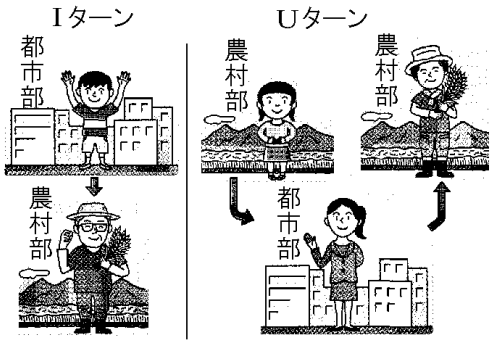
[解答欄]

[解答]過疎

[解説]

農村(とくに，山間部や離島)では，働く場所が少ないため，若い人が仕事を求めて都市部へ出て行き，人口の減少と高齢化が進んでいる。その結果，経済活動がおとろえ，公共交通機関が廃止される，学校や商店，病院がなくなるなど，地域社会を維持する機能が弱くなる。このように，地域の人口が減少することにより，地域住民の生活が成立しなくなる現象を過疎といい，そのような地域を過疎地域という。その一方で，地域の再生に取り組んでいる事例もあり，農村に新しい価値を見いだして，I ターン(都市部の人が農村部へ移住)や U ターン(都市部に出てきた農村部出身の人が農村部へ戻る)という形で移住する人も見られるようになっている。

[過疎(過疎化，過疎地域)]
農村(とくに山間部や離島)では，働く場所が少ない
→若者流出→人口減少・高齢化→経済活動が衰える
→公共交通機関の廃止，学校，商店，病院がなくなる
Iターン，Uターン



※入試出題頻度：「過疎(過疎化，過疎地域)○：山間部や離島△」
「働く場所が少ない△→若者流出△→人口減少・高齢化○」「公共交通機関の廃止○」
「学校，商店，病院がなくなる△」「I ターン△」「U ターン△」

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 農村や山間部にみられるように，教育・消防など地域社会を支える活動が困難になるほど人口が減少する現象を何というか。漢字 2 字で答えよ。

(2) 次のア～カより，(1)の地域の特色を説明したものをすべて選べ。

ア 高齢者の割合が高い。

イ ドーナツ化現象が起こる。

ウ 若者の就職先が少ない。

エ 公共交通機関が廃止される。

オ 住宅地が不足する。

カ 生徒不足により，学校が廃校となる。

(補充問題)

[解答欄]

(1)	(2)

[解答](1) 過疎　(2) ア，ウ，エ，カ

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

東京・大阪・(　①　)の三大都市圏では，人口が集中しており，住宅不足や交通渋滞などが問題になっている。一方，農村や山村，離島では若い人の都市部への人口流出が進み，高齢者の割合が高くなって人々の生活を支えることが困難となる(　②　)が問題となっている。

(佐賀県改)

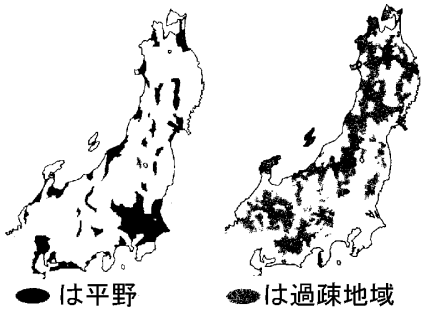
[解答欄]

①	②

[解答]① 名古屋　② 過疎

[問題]

右の 2 つの略地図から，過疎地域は，地形の面から見ると(　　)には少なく，山間部に多く分布していることがわかる。



(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]平野

[問題]

　都市部出身者の，農村部への移住のように，就職や転職などをきっかけにして，生まれ育った地域とは違う地域へ移住することを何というか。

(福井県)

[解答欄]

[解答]I ターン

[問題]

　次の文は，移住について，ごろうさんの身近な人を例に説明したものである。文中の(A)ターン，(B)ターンについて，(A)，(B)にあてはまる適切なアルファベット 1 文字を答えよ。

　ごろうさんの兄は，出身地の鳥取県から東京都にある大学に進学し，就職を機に鳥取県に戻ってきた。このことを(　A　)ターンという。ごろうさんのいとこは，出身地の東京都から鳥取県に移り住んだ。このことを(　B　)ターンという。

(鳥取県)

[解答欄]

A :	B :

[解答]A : U　B : I

[問題]

　中学生のまさおさんは，中国地方や四国地方の山間部では過疎化に悩む地域があることを授業で学んだ。過疎地域活性化のアイデアとして，まさおさんが考えた次のア～エのうち，適当でないものはどれか。1 つ選んで，その記号を書け。

ア　定年退職した人を対象に，空き家などを提供して移住や滞在をすすめるなど，いなか暮らしの魅力を情報発信するとよい。

イ　山や河川などの豊かな自然や，温泉などを地元の観光資源として開発し，多くの観光客に来てもらうようにするとよい。

ウ　人口が減っている地域にある会社の営業所を閉鎖し，従業員をたくさん雇うことのできる都会の営業所にまとめるとよい。

エ　廃校になった校舎を利用して，さまざまな自然体験や生活体験ができる山村留学を企画し，都会の子どもたちを招くとよい。

(香川県)

[解答欄]

[解答]ウ

【FdData 入試版のご案内】
詳細は，[FdData 入試ホームページ]に掲載（[Shift]＋左クリック→新規ウィンドウ）
姉妹品：[FdData 中間期末ホームページ]（[Shift]＋左クリック→新規ウィンドウ）

◆印刷・編集
この PDF ファイルは，FdData 入試を PDF 形式に変換したサンプルで，印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 入試は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで，印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 入試の特徴
FdData 入試は，公立高校入試問題の全傾向を網羅することを基本方針に編集したワープロデータ(Word 文書)です。 入試理科・入試社会ともに，過去に出題された公立高校入試の問題をいったんばらばらに分解して，細かい単元ごとに再編集して作成しております。

◆サンプル版と製品版の違い
ホームページ上に掲載しておりますサンプルは，製品の Word 文書を PDF ファイルに変換したもので印刷や編集はできませんが，製品の全内容を掲載しており，どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。
しかし，FdData 入試がその本来の力を発揮するのは印刷や編集ができる製品版においてです。また，製品版は，すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」，編集に適した「問題解答一体形式」，暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」の 3 形式を含んでいますので，目的に応じて活用することができます。
※FdData 入試の特徴(QandA 方式)（[Shift]＋左クリック→新規ウィンドウ）

◆FdData 入試製品版(Word 版)の価格(消費税込み)
※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると，新規ウィンドウが開きます
社会地理，社会歴史，社会公民：各 6,800 円(統合版は 16,200 円)（[Shift]＋左クリック）
理科 1 年，理科 2 年，理科 3 年：各 6,800 円(統合版は 16,200 円)（[Shift]＋左クリック）
※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。
(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は，メール(info2@fdtext.com)，または電話(092-811-0960)で承っております。
※注文→インストール→編集･印刷の流れ （[Shift]＋左クリック）
※注文メール記入例 （[Shift]＋左クリック）

【Fd 教材開発】 Mail： info2@fdtext.com Tel ：092-811-0960